

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈禱院563 〒834-0025
 HP: www.wing8.com/dcity-yame/

クラッシーのバックナンバー(2010.1.1号より)がインターネットでご覧になれます。
 「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

6 JUN

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
				5	6	7	8
				9	10	11	12
				13	14	15	16
				17	18	19	20
				21	22	23	24
				25	26	27	28
				29	30	31	

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 5月4日 友引 エンとテンと (おりなす八女)	2 5日 先負 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館) (地域福祉センター) (地域交流センター) (立花市民センター) (八女市役所星野支所) (矢部公民館) (筑後市勤労者家庭支援施設) (広川町はなやきの里)	3 6日 仏滅	4 7日 大安	5 8日 赤口 松尾弁財天縁日(立花町) 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約☎23-2603	6 9日 先勝	7 10日 友引
8 11日 先負 八女軽トラ市9:30~13:00 (八女観光物産館駐車場) グリーンピア八女ウォーク (八女歩こう会)	9 12日 仏滅	10 13日 大安	11 14日 赤口 無料法律相談13:30~要予約 (八女民主商工会) ☎24-2727	12 15日 先勝	13 16日 友引	14 17日 先負
15 18日 仏滅 東京大衆歌謡楽団 (おりなす八女)	16 19日 大安 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	17 20日 赤口	18 21日 先勝 社会保険個別相談会 10:00~15:00 (八女商工会議所) 要予約 0942-33-6215	19 22日 友引 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約☎23-2603	20 23日 先負 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	21 24日 仏滅
22 25日 大安 八女軽トラ市9:30~13:00 (八女観光物産館駐車場)	23 26日 赤口	24 27日 先勝	25 28日 友引	26 29日 先負 お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (公園の宿) (べんがら村)	27 6月1日 赤口	28 2日 先勝
29 3日 友引	30 4日 先負 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 6月4日・18日 黒木町ふじの里 6月4日・18日 上陽町地域福祉センター 6月11日・25日 立花町かがやき 6月11日・28日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 6月13日 黒木町ふじの里 6月20日 上陽町地域福祉センター 6月27日		司法書士相談 黒木町ふじの里 6月13日 八女市社会福祉会館 6月20日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院		くろぎふるさと日曜日市 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日 ○読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~ ○赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎月第3水曜日 午前11時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第4木曜日 午前11時~

暦は紫陽花に雨光る六月。子の描く傘が明るい梅雨の入り。歳時記に和江さんの一句が眼にとまったが、昨今、スクールバス登下校増加。傘の行列登校風景は減少。▼高齢化、少子化、限界集落、消えゆく村：左様なニュース見聞多々の昨今、矢部村南朝ゆかりの聖地御側小学校廃校後すでに42年、創設当初から勘定すれば百一年。そこで同校卒業生山口久幸八女館長の肝入りで「御側小創立一〇一年記念同窓会」の呼びかけ。新緑風薫る5/3、テントを張って開催。出会わずの世代とはいえず、舎は一つ。大正、昭和戦前、戦中、戦後、旧師をかこみ、回顧の話題は多々。ここに新たな「絆」が生まれ、記念碑の除幕も。白雲なびく大木の空には高し御前岳。校歌の声も高らかに、南朝の親王の微笑も見えるかのような世にも珍しい多学年同窓会。85歳の旧師山田ミツル先生揮毫の記念碑「絆」の文字が新たな「絆」を生む見事な教育灯台となる。▼大藤の紫色の花は消えしも、緑葉の下、黒木町神宮境内では第13回作曲家團伊玖磨を偲ぶ「だご汁忌」この催しは團さんと縁故も深し吉村誠氏の発起。児童、消防隊の合唱。なかでも児童のキーボード伴奏のさばきに感心。郷土愛、文化の伝承。地域の活力もこのへんのところから...

天宮ふんよん
 村里ゆかし
 教育、文化の「絆」
 詩人推窓 猛

矢部川3大水害記録写真展

平成24年の矢部川豪雨災害。それは、多くの人にとって想定外の自然の猛威でした。しかし、過去にも、大正10年、昭和28年と矢部川流域は同規模の大水害に繰り返し見舞われてきました。当館では、これら三大水害の記録写真80点余、江戸時代の川絵図、水害記録誌などを展示します。



矢部川橋に体当する漂流物と激流。六月二十八日に至り橋脚傾斜し交通不能撮影時は水位は既に一、五米減水した。



福島町津の江。矢部川右岸津の江戸落川原畑に濁流は押寄せた。

矢部川流域に暮らす人々は、古から豪雨災害の都度、果敢に立ち上がり復興と再生を図ってきました。しかし、今日では、山間地特有の過疎化、山林や田畑の荒廃など、今まで以上に幾多の困難が立ちまわっているようにみえます。これらの課題が行政と地域住民の英知を結集して克服することを切に願わずにはおれません。

さらに、本写真展が、洪水避難・防災知識の習得、治水事業の啓蒙、被災地の復興と振興などの一助となれば幸いです。ご来館をお待ちしています。

期間=6月3日(火)~6月29日(日)

会場・問い合わせ=八女市横町町家交流館 (☎23・4311)



楽しい絵手紙



八女市龍ヶ原 坂本 スミカ

大東寺絵手紙教室は、知人の方より紹介して頂き入会してもう数年通っておりです。絵はなかなか上達しませんが、大坪先生のやさしい一言に励まされ続けております。絵のきつかけは、星野富弘氏のカレンダーです。手の不自由さを感じさせぬ絵文章に感動を受けました。これから孫やお友達へ手軽に四季折々絵手紙を出せる様に頑張りたいと思います。今年で九回目の絵手紙展示会です。どうぞお立ち寄り下さい。大東寺様、大坪先生これからも宜しくお願い致します。

八女の宝物 ほたる飛ぶ清流

遅い夏の陽が沈むのを待つ夕涼みに外へ出ると、家の周りを十匹余のほたるが静かに舞っている。一時はこの辺からすっきり姿を消していたから少しづつ復活しているのは嬉しい。地域の方々はじめ関係者の自然環境保護、水質浄化の地道な努力の成果であろう。ほたると言えば十年以上前になるが、黒木町田代で見たとほたるの群舞が忘れられない。対岸の樹木の梢から光の滝のように川辺に舞い降りてくるのである。真つ暗闇に点滅する無数のあやかな光の中に、一瞬引き込まれるよ

うな迫力があつた。一昨年の大水害で八女地方の河川はずい分と荒らされただけに、川の復旧状況はいつも気になっていた。六十代から上の世代、八女・筑後に育った我々の子ども時代は川を通した思い出がいっぱい詰まっています。特に夏休みは朝のラジオ体操に始まって魚獲り、水遊びなどで唇をまっ青にして一日のほとんどを川で過ごしていた。澄んだ川底にはきれいな川砂、小石の下には小魚が見え隠れしていた。前夜仕掛けていた置き針にナマズやたまにウナギが掛かることもあつた。水量は減り、護岸工事で当時の姿には戻らないだろうが、ホタルの舞い飛ぶ清流、全国の釣りファンが憧れる「金



樋口 保 画 眼鏡橋と螢 (ふるさとカレンダー30年の歩みより)

アユ」が生育する八女の清流こそ、いつまでも残しておきたい八女の宝物である。今年も5月下旬から6月初旬にかけて立花町辺春、上陽町北川内、黒木町田代等でホタルまつりがあるようだ。今年こそ清流の復興を願って一夜ほたる狩りに出かけたかと思つている。

新茶販売実習

八女農業高等学校

どんたくで賑わう5月3日(土)福岡市の天神岩田屋本店で、本校の新茶を販売しました。

生産技術科茶業・作物専攻を代表し、3年の池田夏奈さんと築地原香奈さんが、販売実習を行いました。2人とも、お客様の多さにとまどいながらも、高校生らしい初々しい態度で、新茶の試飲を勧めたり、お茶についての説明を一生懸命行い、とても好評でした。お客様からは「毎年購入しています。おいしいお茶だわ」「頑張ってるね。応援しているからね」と励ましの言葉をいただきました。

これまでの学習の成果を充分に発揮すると同時に地域貢献にもなり貴重な販売実習でした。



6月の(八女農みらい館)開館日

3日(火)、6日(金)、10日(火)、13日(金)、17日(火)、20日(金)、24日(火)、27日(金)

販売時間は、10時30分~15時30分です。

多くの皆様がお越しいただくことを心よりお待ちしております。

呟き

若葉の頃

まだ頬に当たる風が少し冷たい春の夜、歩いていると新緑の匂いがした。ふと見上げると、こないだまで花を咲かせていた桜の木に若葉がたくさん息吹いていた。時は流れている。嬉しいような寂しいような。

さつきまで居た店で学生時代の友人と久しぶりに会った。辛い出来事をすっかり乗り越えて逆に私を励ます友。新しい目標を見つけ充実した毎日を送っている友。あたたかい家庭に見守られて安心した笑顔を見せる友。もつと上手くなりたいたいと演奏技術を研磨する友。皆前に進んでいる。嬉しいような寂しいような。

私はといえば、一年前の日記を開いてみると今と同じことを綴っている。時は流れているのに。季節は巡っているのに。

今年も咲いているだろうか。実家の庭のツツジ。燃えるような鮮やかな色でいつも私の背中を押して送り出してくれていた。未来があつて希望があつて夢があつたあの頃、幸せな自分の将来を思い描いていたはず。

新緑の若葉のように愛情という太陽の光いっぱい浴びて、鮮やかなツツジのように明るく誰かの心を和ませて、何の不安もなく、何の苛立ちもなく、何のおそれもなく、穏やかに前に進みたい。きつと、それが今の私が描く幸せだ。

森 志穂

街かど gallery



キで、私もその時期が来たら学びたいと思っていました。まず不得意の絵に挑戦しようと水墨画に入会しました。中島先生の情熱溢れる御指導や、一筆で表現される濃淡の美しさに感動し、やってみたいと興味を覚えました。やればやる程難しく、今だに手探りの状態ですが、苦しさ、楽しさを味わいながら、水墨画に出会えた事はほんとうに良かったと痛感しています。グループの学習も楽しく、皆さんの進歩に目を見張り、背中を押されながら、継続は力なり、成せば成るの精神でこれからも精進出来ればと願っています。



八女市吉田 城後 由嬉子

若い頃お友達のお母さんが久留米の老人大学に通っておられた様子がステキ

今月の山柳



どくだみと言えど可憐な白十字

どくだみは、その匂いから嫌われることも多いが、よく見ると、あの白十字は、可愛いものである。昔から知られた民間薬草で、十以上の力があるので、別名、十薬とも言われる。白十字は、花でなく、葉が変化したものだそう。

八女川柳会 安達 昇

老々介護 No.10 終いの住みかはどこに…

(少し間があきましたがNo.9からの続きです) 95歳になって徐々に体力が衰えてきた母……。『長生きはしたが友だちいなくなり』(シルバー川柳) 仲の良かった近くの親しい人も次々に亡くなられ、兄弟姉妹も自分のことで精いっぱいとなり一人でぼんやり過ごす時間が多くなりました。そんな母に子ども(と言っても4人の総年齢359歳ですが)のうち娘2人が『介護付有料老人施設』への入居をすすめるために母の居室へいきました。

ほどなく母を伴って戻ってきました。

百聞は一見に如かず。母を連れて施設を見学に行こうということになりました。息子二人は手分けして、近隣の施設に電話で見学の交渉です。結局三つの施設を見せてもらうことになりました。食堂、浴室、居室、娯楽室、機能訓練室等どこもきれいで充実しています。母も全く拒絶ではないようです。多少不便な思いをしても長く住みなれた家がいいか、終の住みかになるかも知れない環境のいい暮らしをとるか決断を迫られます。決め手としては、家から近い。多くの同世代の人がいる。介護スタッフがやさしそう。入居者に小学校時代の人がいるなど色々な要素があります。しかし口にしません母の頭の中には家族にあまり迷惑をかけたくないという思いが一番強いのかもしれません。『親子は一世、夫婦は二世』ふと脳裏をよぎりました。たかお

矢部川源流・杉の里の四季 ③

サツマイナモリ(薩摩稲森)[アカネ科]

矢部村では丁度、日向神ダムの千本桜が咲き始める頃、杉山の林床にサツマイナモリが咲いている。この花は多年草で谷間の岩場など水分の多い場所で見ることが多い。

名前の由来は、三重県の稲森山で発見されたイナモリソウによく似た花で薩摩で最初にみつげられたということらしい。花の内側が毛で覆われていてふっくらとした柔らかい感じのかわいい花である。

(黒木町) 松尾 重根



クラッシー文芸

■黒木町くすの実句会 (二月)

悦びも哀しみも独り春寒し

村の名は残る峠や小雪舞ふ

雪を呼ぶ嵐の音に寝もやらず

オンドルに母語らざる日々

松明の明り頼りに初若布

綻びてまた縮むごと梅の花

(三月)

寒風は地球を掠ぶ星の息

雛飾る商家の出窓畳敷き

種芋の待ちわびるごと芽を伸ばす

雪積もる被災地白き無人島

煙り立つ松の薦焼く雨水かな

吊り革に揺られて目刺しのご

■上陽町陽泉俳句会 (二月)

温もりの生れにし処寒椿

銀盤の四回転やソチの華

襦袢着て仮設の午後の鎮魂歌

昭和の香残す港の春時雨

竹林のまだ静かなり春隣り

冬帽子目深に被り畑周り

ちよこなんと庭石の裾踏の臺

立春やスカーフ少し派手にする

(三月)

病む友に禁句も避けて春たより

寒林の檜檜となりて鳥呼ばず

揺るる尾のほのかに見えて春の鯉

■立花町立花俳句会 (三月)

助辞ひとつ推して敲いて春

花冷や日々世に疎くなり

茶一服春の条幅書き終へて

咲き誇る菜花を避けて畦の

鳥曇り川面に映す廃校舎

春場所や鬚なき筆頭奮戦す

カルストに赤き線伸ぶ野焼

茶畑に耳敬つる鶯の声

■ひろかわ俳句会 (四月)

交番に猫が留す居の長閑け

さや

山下 次男

■立花町短歌会 (四月)

うつむきて咲きたる小百合の花の露零れ落ちては土に消えゆく

雨上がり桜の花びら地に落ちて花の命の短さ思う

筈は日毎に量を増してくる楽しみもありまだ現役と

復興に力添えする歌声はテレビで流れる「花は咲く」

満開の桜で遊ぶ小鳥たち枝を飛ぶたび花びら舞い散る

青空に伸びて辛夷の花盛り植えたる妻は見ることもなく

庭先の椿の花はポトポトと散りて真つ赤な絨毯を敷く

庭先に木蓮咲いてやっとな春遅霜受けて一夜に変わる

蜘蛛の囀に枯葉一枚はため

唐待の子の多き世や春囊

紅梅の香りに一と問あけ放

目の走るところどこに椿

■八女陸句会 (三月)

急斜面手づかぬまよ竹の

千し

のどかさや子亀並びて甲羅

長閑さやうつらうつらの媪

かな

中村 良郎

一陣の風をまともに花吹雪

春昼やひとりの客の路線バ

ス

麗らかや波紋を写す水の底

水本 艶子

耕して土の匂ひも長閑かな

り

松延 朝美

長閑さやうつらうつらの媪

かな

中村 義巳

急斜面手づかぬまよ竹の

千し

のどかさや子亀並びて甲羅

長閑さやうつらうつらの媪

かな

中村 義巳

急斜面手づかぬまよ竹の

千し

ベターホームの楽しいcooking

いろいろ野菜のカポナータ



【料理本】お弁当がすぐできる、便利なおかずより ¥1296(税込)



シニア世代向け

つるかめ食堂 -60歳からの健康維持レシピ- ¥1512(税込)

本カタログは、送料無料でお届け。お気軽にご請求ください。〒810-0001中央区天神2-13-17 ベターホーム宛

Table with 2 columns: 材料 (作りやすい分量) and 作り方. Lists ingredients like zucchini, eggplant, paprika, and provides cooking instructions.

ベターホームの本のお申込みは、電話、FAX、インターネットで受付中。092-714-2411 FAX092-711-7830 URL http://www.betterhome.jp

添乗員の耳より情報 第11回



ゴールデンウィークも終わりましたが、いかがお過ごしでしょうか? 今回は、取り上げるのは、同じ福岡県の大正のロマン薫る「門司港レトロ」のある意外な食べ物についてご紹介致します。門司港といえば

バナナの叩き売り、焼きカレーなどが有名ですが、地元でひそかに話題になっている食べ物があります。それは、「ちゃんらー」です。和風だしの効いたスープに、ちゃんぽんめんを入れて、豚肉ともやしをトッピングした素朴な料理になっています。しかも、それを考案したと言われているのが、門司港出身のタレント芋洗坂係長のお母さんなんです。今現在、2代目清美食堂として、ちゃんらーのお店を門司港に出しています。ちなみに、私も学生時代、高校の学食で食べていました…(笑)

門司港にお越しの際は、一度食べてみる価値ありますよ!

門司港のことに関する情報は、是非、筑後旅行センターまで。



筑後旅行センター Tel:0942-52-4911 営業課 阿井 幸太郎

Advertisement for '茶ひよ子' (Chahiyoko) featuring a large egg and promotional text for a 100th anniversary event.



ご協力ありがとうございました

ヤンマー建機杯第18回矢部川交流軟式野球大会はみやま、柳川、八女、筑後四市立中学校野球部24チームが参加して開催されました。各チームの選手は日ごろの練習の成果を存分に発揮し好ゲームの連続でした。試合結果は優勝筑後中学校(筑後市)準優勝昭代中学校(柳河市)でした。全力で戦ってくれた全選手の皆さん、大会開催にご尽力賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。

大会委員長 木本 文明



ふるさと伝統行事 ⑥

川祭り

旧の五月(さつき)にもなると、四囲はもう初夏の装いです。里から野へ山へと見渡す限り鮮緑でまぶしいくらいです。苗代では四、五寸にも伸びた苗がそよぎ、夜は蛙の合唱が繰り返されて、誘蛾灯の炎がゆらぎます。そよぐ涼風、川辺では早い蜚がちらほら目につきます。旧の五月五日には「川祭り」がやってきます。

「川祭りチャコノ頃 アンマリ センゴツナツ タナヤ」「ソータイ。初手ハ インガット 講中 デシヨーツタバッテ……」



梅本光男 画

「アリア家回シテ 寄り合ウテ 飲ミ食イノ楽シ ミシヤッタタイ」「楽シミデンアッタガ 麦穀デイロイロ作ツタリシテ オオゴトジャッタガ……」

は、めいめいに呪い文句や自分の望みなどを短冊に認めます。これを青笹につるして川面すれすれに土手に突き立てるので。 古来、水がない所には生活はありません。自然の恵みの水は、即神の恵みで、水のある所必ず水神様がいらっしゃるのです。集落のもえ井側、高みにある溜池、清冽な流れや淀んだ深い淵などを総覧して、水難から守り、火災を消してくれる神様なのです。つるべのある昔の井側では、井戸浚えの時には必ず井戸端で祭りをしていたことを思い出します。当時は水はとも重要だったので。 とはいえ、時には恵み

の水が災害をもたらすこともあります。洪水で思わぬ災害を受け、溜池で水難事故が起きることもあります。川祭りは水の恵みに感謝し、水難逃れを祈る素朴な祭りだったのです。水神に捧げた残りの馳走で、講中一同和楽の宴を繰り上げ、日なが一日、話の広場での心の交流はまた「良き哉」であったのです。今では水難もなく、日ごろから飽食をしているせいか、川祭りをしている所は殆んど見当たりません。 八女の方言歳時記・郷田敏男著より